



STEINWAY & SONS

スタインウェイ&サンズ東京

♪ 篠原有紀子 ピアノリサイタル ♪

現在、イギリスを中心にアーティスト活動を精力的に行っている篠原有紀子。今回、一時帰国を記念してリサイタルを開催。ロンドン仕込みのパワフル且つ繊細な演奏を音楽にまつわるトークを交えてお届けいたします。是非お楽しみください♪

2019/10/20 Sun 17:30 START (17:00 Open)

♪ Program

ショパン: 即興曲 第1番 Op.29 変イ長調
 ショパン: スケルツォ 第4番 Op.54 ホ長調
 シューベルト: 楽興の時 D.780 より
 グラナドス: スペイン舞曲 より
 カプーステン: ソナタ ファンタジーOp.39より 第4楽章

他



篠原 有紀子 Yukiko Shinohara



東京都立芸術高校卒業後、ロンドン大学Goldsmiths' College で音楽学士号、Trinity College of Music で音楽修士号、およびAdvanced performanceディプロマ取得。留学中は現代音楽に特に力を入れ、若き演奏家の登竜門のひとつであるPark Lane Group Young Artistシリーズに合格、ロンドンのサウスバンクセンターでソロリサイタルを行う。またオールドバラ音楽祭でベンジャミン・ブリテンが少年期に書いたピアノ作品を初演。日本では、東京オペラシティの同時代音楽企画「コンポーシウム」2003年版でジョルジュ・リゲティのエチュードを演奏し好評を得る。2009年東京でコンテンポラリーダンサーの太田ゆかりとのデュエット作品「テリトリズム」に出演。最近では室内楽やスタンダードなレパートリーにも力を入れ、母校TrinityLabanで伴奏助手するかたわら、Joanne Rozario(クラリネットとサクソフォン)、Lianna Jefferey (フルート)など多数のミュージシャンとイギリス国内で定期的に演奏活動するほか、P&O, Fred Olsen及びCunard社の客船でゲストアーティストとしてコンサートを行なっている。これまでにピアノを関根由喜江、辛島輝治、故Susan Bradshaw, Douglas Finch, Catherine Vickers, Pierre Laurant Aimard, Bernard Flavignyの各氏に師事。英国ケント州在住。

【会場】 スタインウェイ&サンズ東京 エントランス
 【お申込】 www.steinway.co.jp、又は以下のTELまで
 【入場料】 2,000円 (当日受付にてお支払いください)
 【定員】 30名様
 【お問い合わせ】 スタインウェイ&サンズ東京
 TEL:03-3450-7270(11:00~19:00)
 東京都品川区東品川2-6-4 G1ビル1F



▲詳細・お申込はこちらから



駐車場のご用意はございませんので、公共交通機関または近隣パーキングをご利用ください。